

て普通選挙を實施した際に動もすれば問題となつたのですが、さて愈々やつて見れば何處でも從來の第一流の人物は大抵當選する而して、ヤクザの人物は落選して之に代り新に現はれたる人物は從來の第一流の人々に遜色なき而も年少有爲の活氣ある人であつたのです。我國に於ても正に然るべきことを確信致します。

從來選挙の度に國民は新進有爲の人物の出陣を望んで居りますが今日の様な制度では何回やつても駄目です。否改正法に依り小選挙制となつた結果更に悪くなります。此點に於ける國民の期待は只普通選挙の實施に依りてのみ行はるゝものであります。

第四に普選の實施に依り議會は始めて人民の有力なる後援を得又人民より云はゞ其意思が始めて政治に代表せらるゝこととなります。今日に於ては議會は人民の間に清濁がある爲に議會に對して人民は熱がない。彼等は眞實の所、議會を彼等の代表者と思はぬ故之に對して投しやうと云ふ考へもないのは當然である。是れ制限選挙の弊であります。然るに普選を行はゞ民衆の議會に對する考へは一變致します。

輿論は彼等の意思を代表する權たるの實を有するに至り彼等は議會の熱心なる眞摯なる後援者擁護者となるのであります。従つて政黨内閣云ふものも正式に實現し、而も其基礎が確實なるものとなります。今日の政友會内閣が果して政黨内閣と言ふべき價值ありや問題であるが此れ位の内閣さへ果して此内閣の後援者として成立し得るや更に疑問せられて居るのは議會が國民の後援を缺いて居るからであります。然るに普選が行はれ國民多数の意思が議會に代表することならば其議會に多数を制するの政黨は國民の後援を得て押しも押されぬ有力なるものとなります。而して一度國民の信任を失ふや其國民の意思が議會に代表せられて新に信任に依り議會に多数を制したる政黨が其國民の後援に依り取つて代ることとなります。斯くして政治は立憲の順道を歩み常に議會を云ふ代表機關を通じて國民の意思に依り國民の爲めに運用せらるゝこととなるのです。日本の今日の實情は政黨が議會に多数を制して政治の實権を握るにあらすして政治の實権を握りて後議會に多数を制するの途を講ずるが如き本末顛倒の奇現象を呈して居ります。従つて議會は政